

出典一覧表 3年

内容解説資料

国語3		出典				
ページ	教材名		名称	著作者等	発行者	発行年次等
前見返し1-2	世界はうつくしいと		世界はうつくしいと	長田弘	みすず書房	2009
12	み続よけうて	アンソロジー メモ例(引用部分1)	新釈漢文大系 第1巻 論語	孔子	明治書院	1960
12		アンソロジー メモ例(引用部分2)	勇気が10倍湧いてくる言葉	河内宏之	PHP研究所	2010
14-23	握手		ナイン	井上ひさし	講談社	1990
27	季節のしおり 春	春風や鬨志いだきて丘に立つ	定本 高濱虚子全集 第一巻 俳句集(一)	高浜虚子	毎日新聞社	1974
27		袖ひちてむすびし水のこほれるを春立つけふの風やとくらむ	古今和歌集 新編 日本古典文学全集11	紀貫之	小学館	1994
27		三月	定本 室生犀星全集 第一巻 詩集	室生犀星	冬樹社	1978
27		春夜	朗唱 漢詩漢文一よみがえる日本語のひびき 心に残る名詩名句77	蘇軾	東洋館出版社	2003
29-30	学びて時に之を習ふ―「論語」から		新釈漢文大系 第1巻 論語	孔子	明治書院	1960
42-47	作られた「物語」を超えて		書きおろし	山極寿一		
56-59	リオの伝説のスピーチ		あなたが世界を変える日 12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ	セヴァン・カリス＝スズキ	学陽書房	2003
64-65	報道文を比較して読もう	新聞記事A	読売新聞 2018年9月27日朝刊 社会14版		読売新聞社	2018
66-67		新聞記事B	朝日新聞 2018年9月27日朝刊 社会14版		朝日新聞社	2018
68		ここに注目	書きおろし	池上彰		
70-73	俳句の可能性	俳句の可能性	書きおろし	宇多喜代子		
70		どの子にも涼しく風の吹く日かな	飯田龍太全集 第一巻 俳句 I	飯田龍太	角川学芸出版	2005
71		いくたびも雪の深さを尋ねけり	子規句集	正岡子規	岩波書店	1997
71		跳箱の突き手一瞬冬が来る	友岡子郷 花神現代俳句	友岡子郷	花神社	1999

国語3		出典				
ページ	教材名	名称	著作者等	発行者	発行年次等	
72	可俳句性の	たんぼぼのぼぼと絮毛のたちにけり	加藤楸邨全句集	加藤楸邨	寒雷俳句会	2010
72		分け入っても分け入っても青い山	山頭火全句集	種田山頭火	春陽堂書店	2002
74	俳句を味わう	赤い椿白い椿と落ちにけり	日本詩人全集30 河東碧梧桐他	河東碧梧桐	新潮社	1969
74		バスを待ち大路の春をうたがはず	石田波郷全集 第一巻 俳句 I	石田波郷	富士見書房	1987
74		萬緑の中や吾子の歯生え初むる	中村草田男全集1 『長子』『火の島』 『萬緑』	中村草田男	みすず書房	1989
74		飛び込みのもう真っ白な泡の中	句集 光まみれの蜂	神野紗希	角川書店	2012
74		くろがねの秋の風鈴鳴りにけり	飯田蛇笏全句集	飯田蛇笏	KADOKAWA	2016
74		金剛の露ひとつぶや石の上	川端茅舎句集	川端茅舎	日本近代文学館	1981
74		冬菊のまとふはおのがひかりのみ	水原秋櫻子全集 第三巻 句集三	水原秋櫻子	講談社	1977
74		流れ行く大根の葉の早さかな	現代日本文学全集66 高濱虚子集	高浜虚子	筑摩書房	1957
74		咳をしても一人	尾崎放哉全句集	尾崎放哉	筑摩書房	2008
75		古池や蛙飛こむ水のおと	松尾芭蕉集① 新編日本古典文学全集70	松尾芭蕉	小学館	1995
76	選言ぼ葉うを	「枕草子」第百四十五段	枕草子 新編日本古典文学全集18	清少納言	小学館	1997
82	私の一冊を探しにいかう	文庫本の裏表紙の紹介文から	羊と鋼の森	文藝春秋社	文藝春秋社	2018
82		新聞の書評「人生が立ち上がる瞬間」	東奥日報 2018年9月5日朝刊 文化欄		共同通信社	2018
83		平凡で特別なことの起こらない、でもかけがえのない人生を描く	文藝春秋社の特設ウェブサイト 「文藝春秋BOOKS」 https://books.bunshun.jp/articles/-/4560	宮下奈都		
84-87		羊と鋼の森	羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋社	2018
91	コラム 読書	ためになるってどんなこと?	書きおろし	森絵都		

国語3			出典			
ページ	教材名		名称	著作者等	発行者	発行年次等
92	季節のしおり 夏	虹立ちて忽ち君の在る如し	定本 高濱虚子全集 第二巻 俳句集(二)	高浜虚子	毎日新聞社	1973
92		夏の夜はまだよひながら明けぬるを雲のいづこに月やどるらむ	新潮日本古典集成<新装版> 古今和歌集	清原深養父	新潮社	2017
92		夏山の風のさびしき百合の花さがしてのぼる前にうしろに	若山牧水歌集	若山牧水	岩波書店	1997
94-96	挨拶—原爆の写真によせて		現代詩文庫46 石垣りん詩集	石垣りん	思潮社	1971
98-111	故郷		魯迅文集 第一巻	魯迅／竹内好 訳	筑摩書房	1976
115	聞き上手になろう ([対談の例] 引用部分)		物語ること、生きること	上橋菜穂子	講談社	2016
124-125	人工知能との未来		書きおろし	羽生善治		
126-127	人間と人工知能と創造性		書きおろし	松原仁		
133	多角的に分析して書こう ([批評文の例] 引用部分)		あたらしい教科書 0 学び	内田樹	プチグラフィック ブリッシン グ	2006
140-141	初恋		藤村全集 第一巻	島崎藤村	筑摩書房	1966
142	季節のしおり 秋	つきぬけて天上の紺曼珠沙華	山口誓子全集 第一巻	山口誓子	明治書院	1977
142		静夜思	新釈漢文大系 第19巻 唐詩選	李白	明治書院	1964
142		白露に風の吹きしく秋の野はつらぬきとめぬ珠ぞ散りける	歌論集 新編 日本古典文学全集 87	文屋朝康	小学館	2002
146-147	古今和歌集 仮名序		古今和歌集 新編 日本古典文学全集11	紀貫之	小学館	1994
148	君待つと	春過ぎて夏来るらし白たへの衣干したり天の香具山	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	持統天皇	小学館	1994
148		東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	柿本人麻呂	小学館	1994
148		君待つと我が恋ひ居れば我が屋戸のすだれ動かし秋の風吹く	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	額田王	小学館	1994
149		天地の 分かれし時ゆ 神さびて 高く貴き駿河なる 富士の高嶺を 天の原	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	山部赤人	小学館	1994
149		田子の浦ゆうち出でて見れば真白にそ富士の高嶺に雪は降りける	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	山部赤人	小学館	1994

国語3		出典				
ページ	教材名	名称	著作者等	発行者	発行年次等	
149	君待つと	憶良らは今は罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	山上憶良	小学館	1994
150		多摩川にさらす手作りさらさらに何そこの児のここだ愛しき	萬葉集③ 新編日本古典文学全集8	(東歌)	小学館	1995
150		父母が頭かき撫で幸くあれて言ひし言葉ぜ忘れかねつる	萬葉集④ 新編日本古典文学全集9	(防人歌)	小学館	1996
150		新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事	萬葉集④ 新編日本古典文学全集9	大伴家持	小学館	1996
151		人はいさ心も知らずふるさととは花ぞ昔の香ににほひける	古今和歌集 新編日本古典文学全集11	紀貫之	小学館	1994
151		秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる	古今和歌集 新編日本古典文学全集11	藤原敏行	小学館	1994
151		思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを	古今和歌集 新編日本古典文学全集11	小野小町	小学館	1994
152		道の辺に清水流るる柳かげしばしとてこそ立ちどまりつれ	新古今和歌集 新編日本古典文学全集43	西行法師	小学館	1995
152		見わたせば花も紅葉もなかりけり浦の苫屋の秋の夕暮	新古今和歌集 新編日本古典文学全集43	藤原定家	小学館	1995
152		玉の緒よ絶えなば絶えねながらへば忍ぶることの弱りもぞする	新古今和歌集 新編日本古典文学全集43	式子内親王	小学館	1995
154-159	夏草	夏草—「おくのほそ道」から	松尾芭蕉集② 新編日本古典文学全集71	松尾芭蕉	小学館	1997
162		熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな	萬葉集① 新編日本古典文学全集6	額田王	小学館	1994
163	古典名句・名言集	「徒然草(第百三十七段)」兼好法師	徒然草全注釈 下巻 全二冊	兼好法師	角川書店	1968
163		「新古今和歌集」西行法師	新古今和歌集 新編日本古典文学全集43	西行法師	小学館	1995
163		「花鏡」世阿弥	連歌論集 能楽論集 俳論集 新編日本古典文学全集88	世阿弥	小学館	2001
163		「伊勢物語(筒井筒)」	竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語 新編日本古典文学全集12	作者未詳	小学館	1994

国語3		出典				
ページ	教材名	名称	著作者等	発行者	発行年次等	
163	古典名句・名言集	「源氏物語(若紫)」紫式部	源氏物語① 新編 日本古典文学全集20	紫式部	小学館	1994
164		「読史管見」胡寅	朗唱 漢詩漢文 第2集—よみがえる 日本語のひびき 心に残る名詩名句 77—	胡寅	東洋館出版社	2004
164		「江南の春」杜牧	漢文大系 第二巻 (普及版)	杜牧	富山房	1972
164		「老子徳経 下」老子	新釈漢文大系 第 7巻 老子・荘子 (上)	老子	明治書院	1966
164		「涼州詞」王翰	新釈漢文大系 第 19巻 唐詩選	王翰	明治書院	1964
164		「万葉集」梅花の歌の序文 大伴旅人	万葉集 全訳注原 文付(一)	大伴旅人	講談社	1978
166- 170		誰かの代わりに	書きおろし	鷺田清一		
178- 185	本は への 扉 世界	エルサルバドルの少女 ヘスース	書きおろし	長倉洋海		
188- 190		紛争地の看護師	紛争地の看護師	白川優子	小学館	2018
194	季節 の し お り 冬	凧や海に夕日を吹き落す	漱石俳句集	夏目漱石	岩波書店	2008
194		星めぐりの歌	【新】校本 宮澤賢 治全集 第六巻 詩V 本文篇	宮沢賢治	筑摩書房	1996
194		雪国	川端康成全集第十 巻	川端康成	新潮社	1980
196- 199		温かいスープ	書きおろし	今道友信		
200- 202		わたしを束ねないで	新川和江詩集	新川和江	角川書店	1973
214	文法 を 生 か す 1	さみだれや大河を前に家二軒	近世俳句俳文集 新編日本古典文学全集72	与謝蕪村	小学館	2001
214		六月を奇麗な風の吹くことよ	子規全集 第二巻 俳句二	正岡子規	講談社	1975
225- 227	振り 返 ろ を う	1992年の秋空	家族シアター	辻村深月	講談社	2018
228		アイヌ民族:歴史と現在	アイヌ民族:歴史と 現在—未来を共に 生きるために<改訂 版>	公益財団法人アイヌ 民族文化財団	公益財団法人アイヌ 民族文化財団	2018
246- 256		高瀬舟	鷗外全集 第十六 巻	森鷗外	岩波書店	1973

国語3		出典				
ページ	教材名	名称	著作者等	発行者	発行年次等	
259-262	二つの悲しみ	生きるかなしみ	杉山龍丸	筑摩書房	1995	
263-268	アラスカとの出会い	旅をする木	星野道夫	文藝春秋社	1995	
269	読書記録をつける(新聞記事)	朝日新聞 2010年1月1日朝刊 別刷り第4部		朝日新聞社	2010	
272	古典・近代文学の名作	伊勢物語	竹取物語 伊勢物語 大和物語 平中物語 新編日本古典文学全集12	作者未詳	小学館	1994
272		土佐日記	土佐日記 蜻蛉日記 新編日本古典文学全集13	紀貫之	小学館	1995
273		源氏物語	源氏物語① 新編日本古典文学全集20	紫式部	小学館	1994
273		更級日記	和泉式部日記 紫式部日記 更級日記 讃岐典侍日記 新編日本古典文学全集26	菅原孝標女	小学館	1994
274		方丈記	方丈記 徒然草 正法眼蔵随聞記 歎異抄 新編日本古典文学全集44	鴨長明	小学館	1995
274		日本永代蔵	井原西鶴集③ 新編日本古典文学全集68	井原西鶴	小学館	1996
275		舞姫	鷗外全集 第一巻	森鷗外	岩波書店	1971
275		草枕	漱石全集 第二巻 短編小説集	夏目漱石	岩波書店	1966
275		真鶴	志賀直哉全集 第三巻	志賀直哉	岩波書店	1973
276		羅生門	芥川龍之介全集 第一巻	芥川龍之介	岩波書店	1977
276	古典・近代文学の名作	山椒魚	井伏鱒二自選全集 第一巻	井伏鱒二	新潮社	1985
276		伊豆の踊子	川端康成全集 第一巻	川端康成	新潮社	1969
277		斜陽	現代日本文学全集78 石川淳 坂口安吾 太宰治集	太宰治	筑摩書房	1975
277		潮騒	潮騒	三島由紀夫	新潮社	1955